



<http://www.unicef.or.jp>

ユニセフと
地球の子どもたち ⑪

タンザニア
United Republic of Tanzania

水道設備が整っていないので
毎日遠くから水をくんでいた

タンザニアはアフリカ大陸の東部にある、とても暑い国です。水道設備がととのっていないために、家から遠くはなれた川から水をくんで使っている地域があります。煙で働くお父さん、お母さんにかわって、水をくみに行っている女の子、ムワシヤパニちゃん（十歳）のお話を聞いてみよう。

わたしの家族は、
おばあちゃんと両親、
妹と弟の六人
です。タンザニアに
は雨はたくさんふる
けれど、晴れるとす
ぐに水分は蒸発して
しまします。

朝起きたらまず、
妹のレヘマ（七歳）

と水くみに行きま
す。わたしたちがく
らすハンガ村には水

時間じかんがかかり
登校とうこうできず…

帰りは、行きより
も大変です。水の入
ったバケツは重たく
て、とてもつかれる
から。手や腰が痛く

なっています。でも、早
あります。でも、早
くしないと学校にお
くれてしまうので、
ふたりではまじ合
いながらがんばって
います。



毎日学校に行けてふくらむ夢

は、たくさん休憩をとらなくてはならないので、時間がかかりすぎて学校に行けなくなってしまうこともあります。

学校から帰ったら、もう一度レヘマと水くみに行きます。一回の水くみだけ

タンザニアで小学校に行っている子どもの割合

●●●●●○○○○○

タンザニアで小学校に行っている子どもの割合

男の子  100人中46人

女の子  100人中48人

「世界子供白書2004」から

世界のすべての子どもは「権利」をもち、「子どもの権利条約」に守られています。

第二十八条では【教育を受ける権利】をうたっています。

けれども世界には、

家のお手伝い、学校が近くにない、家計を助けるため働かななくてはならないなどの理由で、学校に行けない子どもがたくさんいます。ユニセフ

フは、子どもたちが
学校に行けるように
活動しています。

ユニセフの支援で
村に雨水のタンクが
できたので、ムウシ
ヤバニちゃん毎日
学校に通えるよう
になりました。

もつと知りました

いもん
フ学^{がっ}校^{こう}募^ぼ
金^{きん}「はどうやって始^{はじ}まったの？」

こたえ
第二次世界大戦が終

わった後、食べ物か
手に入らなくて
こまっていた日
本の子どもたち

へ、一九四九年
から約十五年
間、ユニセフが
本

服をつくる材料
や脱脂粉乳など
をとどけてくれ
まて。

ユニセフからの支援を受けた学校の子どもたち

支援を受けた日本の子どもたちが
『10円募金』として始める
募金。このとき集まった募金の半分はユニセフにおくられ、のこりの半分は日本の学校や施設におくられました。

学校募金 がつこうぼきん つて？

い、自分たちもユニセフに何かお返しをしたいと考えました。そして、「子どもたちから子どもたちへ」の支援を目指します。

A black and white photograph of a large group of young children, likely students, standing outdoors in a dry, open area. They are wearing white shirts and dark skirts or trousers. Some children are holding small objects, possibly food or toys. The background shows a few trees and a person walking in the distance.

タンザニアの子どもたち ©日本ユニセフ協会

日本ユニセフ協会
展示ボランティア
吉見陽子さん

りがたいことです。
募金ぼくしん以外いがいでも、

「民間親善大使」になってみませんか



吉見陽子さん

セフの取り
組み、展示
を見学した
ときの感想

ここには開発途上
国の学校や保健セン
ターのようす、緊急
救援用テント、地雷

